

平成18年度3月30日専決補正予算
主 な 事 業 一 覧 表

担当課	会計名	事業名	ページ
国保	国民健康保険	全体	P1
国保	老人保健	全体	P2

平成19年度6月補正予算
主 な 事 業 一 覧 表

担当課	会計名	事業名	ページ
参画	一般会計	子どもの映画鑑賞普及事業	P3
環境	"	し尿汲取手数料	P4
子ども	"	放課後児童クラブ利用負担金	P5
農林	"	チャレンジプラン支援事業	P6
農林	"	低コスト林業機械支援事業	P7
農林	"	現年度単独災害復旧事業	P8
商工	"	合併市町村地域資源活用事業助成金	P9
学校	"	不登校自立支援事業（文部科学省委託事業）	P10
生涯	"	体育施設維持管理事業	P11
博物館	"	第7回菅楯彦大賞作家選考事業	P12
農委	"	遊休農地解消対策助成金	P13

平成19年度予算 主な事業一覧表

担当課	会計名	事業名	ページ
商工	国民宿舎	国民宿舎事業	P14

国保会計（歳出）

3月専決

担当課	国民健康保険課
-----	---------

事業名	保険給付費
-----	-------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.1	1,972,259	12,955	107,368				-94,413
2.1.2	1,028,928	15,018				56,602	-41,584
2.1.3	6,360	2,276	632				1,644
2.1.4	3,846	-462				-342	-120
2.2.1	206,129	6,506	13,334				-6,828
2.2.2	64,991	165				10,647	-10,482

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>被保険者の療養給付費、療養費及び高額療養費の支給</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>2月診療分の請求により平成18年度の医療費が確定したことに伴い、医療費に36,458千円の不足が生じたため専決補正するもの。</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p> <p>補正額 36,458千円のうち、予備費を 19,179千円減額したことで一部対応し、残り17,279千円は、 財政調整交付金 180,372千円（国） 療養給付費等交付金 66,907千円（支払基金） の歳入増額が確定したため、これを財源とした。 なお、財政調整交付金及び療養給付費等交付金の合計歳入増額 247,279千円のうち歳出の財源（17,279千円）以外の230,000千円の歳入増に伴い、基金取り崩し450,000千円を230,000千円減額し220,000千円とすることとした。</p>

老人会計（3月専決）

補正の概要

平成18年度の現年度医療諸費が確定したことに伴い、国等の負担額も決定するが、国等の負担金については概算で支払われるため平成18年度においては不足が生じ、これを一般会計繰入金を増額補正をもって対応する。
 なお、平成19年度において国等の負担金の過不足が精算されるため、その財源をもって一般会計が過大に負担した繰入金を返還する。

補正額

現年度医療諸費（歳出）

単位：千円

区 分	決算見込額	現計予算額	補正額
医療給付費(1.1.1)	6,009,681	6,075,620	65,939
医療費支給費(1.1.2)	66,648	79,720	13,072
審査支払手数料(1.1.3)	23,786	24,663	877
計	6,100,115	6,180,003	79,888

現年度負担金等（歳入）

単位：千円

区 分	本来負担額	決算見込額	差引	現計予算額	補正額
支払基金交付金(1.1)	3,336,037	3,329,279	6,758	3,335,551	6,272
国庫支出金(2.1)	1,839,768	1,772,234	67,534	1,895,260	123,026
県支出金(3.1)	459,942	473,815	13,873	473,815	0
一般会計繰入金(4.1)	460,013	520,432	60,419	473,936	46,496
第三者納付金(6.2)	4,355	4,355	0	1,441	2,914
計	6,100,115	6,100,115	0	6,180,003	79,888

事業の説明

上記のとおり現年度医療諸費（歳出）が 6,100,115千円と確定したが、現年度負担金等（歳入）の本来負担額と実際に収入となる決算見込額に過不足（差引）が生じるため、
 支払基金交付金 3,329,279千円
 国庫支出金 1,772,234千円
 県支出金 473,815千円
 第三者納付金 4,355千円
 の歳入計 5,579,683千円に、不足する 520,432千円(6,100,115千円-5,579,683千円)を一般会計繰入金で補填するため、現計予算を 46,496千円(520,432千円-473,936千円)を増額補正するもの。
 なお、一般会計繰入金が平成18年度に過大に負担する 60,419千円については、平成19年度に各負担金の精算により、
 支払基金交付金 6,758千円
 国庫支出金 67,534千円
 県支出金 13,873千円
 が歳入となり、これをもって同額を一般会計に返還する。

担当課	市民参画課
-----	-------

事業名	子どもの映画鑑賞普及事業
-----	--------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.7	0	191	0	191	0	0	0

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>文化庁の平成19年度「子どもの映画鑑賞普及事業」として採択を受け実施する。 ・開催時期：8月31日（金） ・開催場所：上小鴨公民館 ・対象者：上小鴨小学校の児童・教員 ・上映作品：あらしのよるに ・意 図：次世代を担う子どもたちに、映画を鑑賞する機会を提供することにより、文化芸術に親しみ、豊かな心を育むとともに、映画に対する興味を持たせる。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品借上料 105,000円 ・上映費用 84,000円 ・作品輸送料 2,000円 （計） 191,000円
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>県からの委託金 対象経費：作品借上料、上映費用、作品輸送料 191,000円（100%）</p>

担当課	環境課
-----	-----

事業名	し尿汲取手数料
-----	---------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
4.2.3	99,983	2,984				2,940	44

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
事業の概要	し尿処理手数料を10月1日から@850円/ @950円/ に 改定することに伴う し尿汲取委託料の増額補正 し尿処理券売捌き手数料の増額補正
対象	し尿汲取業者への委託料の増額 し尿処理券販売店への手数料の増額
歳出積算根拠（金額）	
し尿処理手数料 @850円 @950円（10月から） 役務費 差額（950円 - 850円 = 100円） $100円/枚（差額） \times 4,900枚/月 \times 6月 \times 3\% = 88,200円$ 委託料 倉吉分（関金以外）委託料単価@850 @950 $100円/枚（差額） \times 4,600枚/月 \times 6月 = 2,760,000円$ 関金分 委託料単価@875 @950 $75円/枚（差額） \times 300枚/月 \times 6月 = 135,000円$ 計 2,984,000円	
歳入積算根拠（特定財源）	
補助対象経費、補助率など	
し尿汲取手数料 90リットルにつき850円 950円（10月から施行） $100円/枚 \times 4,900枚/月 \times 6月 = 2,940,000円$	

担当課	子ども家庭課
-----	--------

事業名	放課後児童クラブ利用負担金
-----	---------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
3.2.1	606	1,140				2,280	-1,140

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p> <p>本市では、児童福祉法に基づき放課後児童クラブを全小学校区で実施しているところです。（15か所 民間8 公立7）クラブの運営経費につきましては、国・県・市の補助金と保護者からの徴収金で賄うこととされており、本市におきましては、民間のクラブでは1人当たり月額2,000円（おやつ代含む）の負担をいただいておりますが、公立のクラブでは無料（おやつ代は実費徴収）であり、校区によって不均衡を生じているところです。</p> <p>公立クラブの運営費につきましては、財政事情の厳しい中、年々事業費は縮小してきており、充実した運営をしていくために財源の確保が必要となってきたところであります。そのため、公立クラブにおきましても、保護者の協力をいただき、月額1,000円を徴収し、民間との均衡を図るとともに財源の確保を図るものです。</p> <p>なお、徴収金は、行事や教材に係る消耗品等、クラブの充実を図るための経費に充当します。</p> <p>実施時期 8月分から</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p><消耗品費> 利用負担金収入2,280千円×1/2=1,140千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p> <p><利用負担金収入> 登録児童数285人×1,000円×8ヶ月=2,280千円</p>

担当課	農林課
-----	-----

事業名	チャレンジプラン支援事業
-----	--------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6.1.3	0	1,556		1,037			519

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>															
<p>アイガモによる有機米を中心とした農産物の特産化と地域の活性化プラン（野添有機米研究会） <概要> 乾燥機（35石）1基、籾摺機（4インチ）1台、計量器1台、ブロードキャスタ（200^{リットル}）1台、アイガモ保留器具（300m）2組 <対象> 野添有機米研究会、地域住民、消費者 <意図> アイガモ農法を核とした環境に優しい農業に取り組み、地域や消費者の交流を通して特産物の育成や地域活性化につながる。</p>															
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table border="0"> <tr> <td>乾燥機</td> <td>1,730,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>籾摺機</td> <td>520,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計量器</td> <td>235,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブロードキャスタ</td> <td>319,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アイガモ保留器具</td> <td>308,000円</td> <td>計3,112,000円</td> </tr> </table> <p><補助金> 3,112千円 × 1/2 = 1,556千円</p>	乾燥機	1,730,000円		籾摺機	520,000円		計量器	235,000円		ブロードキャスタ	319,000円		アイガモ保留器具	308,000円	計3,112,000円
乾燥機	1,730,000円														
籾摺機	520,000円														
計量器	235,000円														
ブロードキャスタ	319,000円														
アイガモ保留器具	308,000円	計3,112,000円													
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p> <p><県補助金> 3,112千円 × 1/3 1,037千円</p>															

担当課	農林課
-----	-----

事業名	低コスト林業機械支援事業
-----	--------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6・2・2	0	3,848		3,848			0

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
適正な森林整備を行うための手段として、現在国が推し進めている森林政策の柱である間伐を推進するため、林内における伐採・集積・運搬等の一連の作業の効率化を図ることを目的として、伐採を主とする林業高性能機械を平成16年度補助事業で導入した。導入後2年経過したが、集積・運搬を主とする林業高性能機械がないため、伐採・集積・運搬等の一連の作業が効率よく流れないこと、また、既導入している林業高性能機械自体も本来の能力を発揮できないままであることから、今回、集積・運搬を主とする林業高性能機械（フォワーダ）を導入し、間伐に伴う一連の作業を効率化させることをねらう。事業効果を今年度から上げるためにも、間伐を実施できない冬期に入る前に施業を終える必要があることから、この度の補正に計上するものである。	
歳出積算根拠（金額）	
フォワーダ購入費 補助率	8,550,000円 45/100
補助金額	$8,550,000円 \times 45/100 = 3,847,500円$
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
補助対象経費（機械購入費） 補助率	8,550,000円 45/100
補助金受入額	$8,550,000円 \times 45/100 = 3,847,500円$

一般会計

6月補正

担当課	農林課
-----	-----

事業名	現年度単独災害復旧事業
-----	-------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
11・1・2	1,000	752				375	377

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p> <p>農業の振興を図り、農家の経営安定と生活水準の向上を図るため、倉吉市が「農林業同和対策事業」にて生竹地区に設置した「農機具保管施設兼集荷所」が、平成19年3月5日の暴風により被災したため、復旧を図る。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>生竹農機具保管施設災害復旧業務</p> <p>【復旧内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャッター（W=3,500mm×H=2,650mm） 3枚修繕 ・修繕費（見積） 751,800円
<p>歳入積算根拠（特定財源）</p> <p>補助対象経費、補助率など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当施設は市財産として、建物総合損害共済に加入しており、風害復旧により事業費の1/2が支払われる 751,800×1/2=375,000円（千円未満切捨）

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	合併市町村地域資源活用事業助成金
-----	------------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.3	3,045	3,361				5,000	-1,639

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>															
<p>（概要）（財）地域活性化センター「合併市町村地域資源活用事業助成金」の対象に採択されたことにより、同助成金を活用して、本市独自の地域資源を「体験のできる観光メニュー」として開発し全国に向けて広く発信し「遥かなまち倉吉」の地域イメージの確立及び観光地としての誘客を積極的に図る。</p> <p><主な事業概要> 体験型教育旅行プログラム開発に向けた事業充実・PR 「倉吉レトロまちかど博物館」の事業充実・PR 各種観光メニューのPR 県総合芸術文化祭関連イベント実施（歴史講談・倉吉レトロ） 谷口ジロー氏漫画「遥かな町へ」の映画化に向けた市民活動支援 「福の神にあえる街づくり」事業推進に向けた市民活動支援</p> <p>（意図）地域特性を活かした活力あるまちづくりの推進に向けて、「地域資源を活用した観光の振興」を図る。</p>															
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>決算見込額6,406千円 - 現計予算額3,045千円 = 補正額3,361千円</p> <table border="0"> <tr> <td>体験型旅行プログラム開発事業関係</td> <td>補正</td> <td>209千円</td> </tr> <tr> <td>観光メニュー造成PR事業関係</td> <td>補正</td> <td>2,122千円</td> </tr> <tr> <td>倉吉レトロまちかど博物館事業関係</td> <td>補正</td> <td>280千円</td> </tr> <tr> <td>遥かなまち倉吉映画化プロジェクト事業関係</td> <td>補正</td> <td>500千円</td> </tr> <tr> <td>福の神に会える街づくり事業関係</td> <td>補正</td> <td>250千円</td> </tr> </table>	体験型旅行プログラム開発事業関係	補正	209千円	観光メニュー造成PR事業関係	補正	2,122千円	倉吉レトロまちかど博物館事業関係	補正	280千円	遥かなまち倉吉映画化プロジェクト事業関係	補正	500千円	福の神に会える街づくり事業関係	補正	250千円
体験型旅行プログラム開発事業関係	補正	209千円													
観光メニュー造成PR事業関係	補正	2,122千円													
倉吉レトロまちかど博物館事業関係	補正	280千円													
遥かなまち倉吉映画化プロジェクト事業関係	補正	500千円													
福の神に会える街づくり事業関係	補正	250千円													
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>															
<p>（財）地域活性化センター「合併市町村地域資源活用事業助成金」 助成金 5,000千円（対象経費の100%、5,000千円が上限） 対象事業費 6,406千円</p>															

一般会計

6月補正

担当課	学校教育課
-----	-------

事業名	不登校自立支援事業（文部科学省委託事業）
-----	----------------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.1.2	0	4,481	4,481	0	0	0	0

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>													
<p>事業の概要 ・旧倉吉産業高校跡地にある河北会館に開設している「鳥取県中部子ども支援センター」に非常勤の指導員及び学習・体験活動支援員を配置し、通級している子どもに対して学習支援を行うとともに、宿泊・体験活動、教育相談会等を随時開催して子どもの学校復帰をめざす。 ・教育支援プログラムの改善、センター職員の資質向上等のための様々な研修会への積極的参加を図る。</p> <p>事業の対象 ・中部地区小中学校に在籍し、不登校状態にある児童生徒。</p> <p>事業の意図 ・通級している児童生徒が在籍している学校、保護者等と緊密な連携をとりながら学校へ再登校できる状況にする。</p>													
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table border="0"> <tr> <td>・非常勤職員、支援員賃金</td> <td>1,740千円</td> </tr> <tr> <td>・センター指導員報償費</td> <td>90千円</td> </tr> <tr> <td>・研修旅費</td> <td>430千円</td> </tr> <tr> <td>・需用費</td> <td>1,928千円</td> </tr> <tr> <td>・役務費</td> <td>52千円</td> </tr> <tr> <td>・使用料及び賃借料</td> <td>241千円</td> </tr> </table>		・非常勤職員、支援員賃金	1,740千円	・センター指導員報償費	90千円	・研修旅費	430千円	・需用費	1,928千円	・役務費	52千円	・使用料及び賃借料	241千円
・非常勤職員、支援員賃金	1,740千円												
・センター指導員報償費	90千円												
・研修旅費	430千円												
・需用費	1,928千円												
・役務費	52千円												
・使用料及び賃借料	241千円												
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p> <table border="0"> <tr> <td>・国庫負担金</td> <td>4,481千円（補助率 100%）</td> </tr> </table>		・国庫負担金	4,481千円（補助率 100%）										
・国庫負担金	4,481千円（補助率 100%）												

一般会計

6月補正

担当課	生涯学習課
-----	-------

事業名	体育施設維持管理事業
-----	------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.5.2	0	553					553

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>倉吉市営温水プールの天井裏鉄骨面の結露により天井材にしみが発生し、湿った状態であり、早急に結露対策が必要となり、修繕のための設計業務委託料を計上するもの。 工事期間は、利用者が減少する時期に実施する。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>設計業務委託料 552,300円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	倉吉博物館
-----	-------

事業名	第7回菅橋彦大賞作家選考事業
-----	----------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.4.6	0	699					699

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p> <p>（概要）名誉市民である菅橋彦の顕彰とその業績を未来へ繋げるため、菅橋彦大賞展を開催しておりますが、その準備段階として前年度に作家選考を行います。開催時期：8月下旬 場所：東京</p> <p>（対象）一般市民の方々に芸術文化に触れ、子どもたちに教育の中で感性を養うため、創作活動に取り組む地域の人たちへは自己啓発の糧となっていたく。</p> <p>（意図）最近では入館者の減少傾向にあり、地方財政も厳しい状況にある。実績と社会状況の変化を見据え、トリエンナーレ賞の望ましい姿を倉吉博物館協会・コミュニティプラザ百花堂等民間の支援団体と協働し具体化するよう努める。（菅橋彦・前田寛治大賞展は4年に1回へ見直し）また協働の成果によって財源確保を实践し、市民から親しまれ、支えられる文化・芸術振興に寄与する博物館活動にしたいと考える。</p>												
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table border="1"> <tr><td>報償費</td><td>380</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>229</td></tr> <tr><td>消耗品費</td><td>50</td></tr> <tr><td>印刷製本費</td><td>20</td></tr> <tr><td>通信運搬費</td><td>20</td></tr> <tr><td>合計</td><td>699</td></tr> </table> <p>前回予算額865千円 699千円（今回補正計上額）、前回菅橋彦大賞展10,569千円 8,318千円（平成20年度計上予定） これまでのトリエンナーレ事業については、経費の節減を図り、また財源確保を図ることで今後の事業継続を目指すものである。</p>	報償費	380	旅費	229	消耗品費	50	印刷製本費	20	通信運搬費	20	合計	699
報償費	380											
旅費	229											
消耗品費	50											
印刷製本費	20											
通信運搬費	20											
合計	699											
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>												

担当課	農業委員会
-----	-------

事業名	遊休農地解消対策助成金
-----	-------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6.1.1	300	200					200

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
（概要） 農業者の高齢化等により遊休農地が増加しており、病害虫等の発生を招くなど農地の流動化の妨げとなっている。 担い手へ規模拡大を促進し、安定的な農業経営体を育成するため、この遊休農地を利用して規模拡大する者に対し、農地の再生に伴う費用負担を軽減することにより、農地の有効利用を促進するとともに遊休農地の解消を図る。 （対象者） 認定農業者・準認定農業者・隣接耕作者 （対象農地） 農業振興地域内の農用地 （交付要件） 農地法及び農業経営基盤強化促進法の規定に基づく3年以上の賃借権の設定 （意図） 遊休農地の解消と農地の流動化促進を図る。
歳出積算根拠（金額）
助成の額 30,000円上限 / 10a
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
（空欄）

国民宿舎事業特別会計

19年度当初予算

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	国民宿舎事業
-----	--------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
	0	89,104				53,551	35,553

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等）

対象（誰、何を対象にしているのか）

意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）

国民宿舎グリーンスコールせきがねの管理運営を平成19年8月1日から指定管理者に行わせるもの。これにより、地方公営企業法の全部適用を廃止し、法非適用の特別会計を設置して処理する。

市は、平成19年7月31日まで営業しますが、その日までに発生した未収金（宿泊、休憩、食事料などの売掛金）と未払金（人件費、食事材料費など）の清算が必要になりますので、公営企業会計から本特別会計に引き継ぎます。

本会計において、グリーンスコールせきがねの企業債償還金と指定管理者の納付金を処理するものです。

歳出積算根拠（金額）

1 維持管理費	20,367千円（人件費、賄材料費、修繕費等）
2 公債費	68,737千円（元金 53,551千円、利子 15,186千円）
計	89,104千円

歳入積算根拠（特定財源）

補助対象経費、補助率など

1 納付金	15,330千円（指定管理者が納付するもの 20,000千円×8/12+利益配分）
2 利用料金	3,223千円（宿泊、休憩、食事料等の売掛金の未収分）
3 繰入金	53,551千円（一般会計からの繰入金）
4 雑入	17,000千円（企業会計からの引継金）
計	89,104千円